

AI覇権争い：OpenAIの二つの切り札「Garlic」と「Shallotpeat」

2025年後半、Google「Gemini 3」の台頭により、OpenAIは「コード・レッド（緊急事態）」を宣言。AI業界のリーダーシップを奪還するため、長期的基盤を再構築する「Shallotpeat」と、短期的な対抗モデル「Garlic」という二本柱の戦略を開始した。

🧄 守りの一手：基盤を再構築する「Shallotpeat」



AIモデルの「土壌」を改良する基礎研究

性能が伸び悩む原因となった、事耐学習プロセスの根本的な欠陥を修正する。



スケーリング則の限界を突破する

GPT-5開発で直面した「計算量を増やしても性能が上がらない」問題を解決する。



長期的な次世代モデルの土台

直接的な製品リリースは無く、将来のGPT-6以降のモデルの技術基盤となる。

GPT-6以降

🚀 攻めの一手：競合に対抗する「Garlic」



短期決戦用の「戦術兵器」

Gemini 3やOpus 4.5に即時対抗するため、開発が急がれている。



「小さくても賢い」高効率モデル

知識蒸留技術により、小型でコストを抑えつつ大規模モデル級の性能を発揮する。



2026年初頭にリリース予定

「GPT-5.2」または「GPT-5.5」として市場に投入される見込み。

	OpenAI “Garlic”（開発中）	Google Gemini 3	Anthropic Claude Opus 4.5
強み	   コーディング、推論、コスト効率	   Vibe Coding、マルチモーダル	   エージェント操作、長文脈
リリース予定	2026年初頭	2025年11月（既出）	2025年11月（既出）